

## 長年の活動に光

# 「声の広報」が厚生労働大臣表彰



山田町朗読ボランティアのみなさん

長年にわたり、福祉分野などでのボランティア活動を行ってきた団体に贈られる厚生労働大臣表彰を、「広報やまだ」を吹き込んだカセットテープを町内の視覚障がい者に届けてきた山田町朗読ボランティア(佐々木啓子代表)が受賞しました。同団体は、昭和63年に伊藤真佐さん、岩間アイ子さん、昆野園子さんの3名が活動を始めたもので、昨年からは昆加代子さんが代表を務めています。震災で中断しましたが、利用者がいる限り続けようとの強い気持ちから、再び「声の広報」を届けています。佐々木代表は「表彰はこれまでの先輩方の長きにわたる地道な活動が認められたものです。これまで以上に努力をし、利用者の皆様へ山田の情報を正しく届ける活動を続けていきます」と意気込みを話していました。

## 国勢調査指導員で貢献

# 漣健治さんが総務大臣表彰



漣 健治さん

漣健治さんが、(64) 大浦が、国勢調査の統計調査指導員としての功績が認められ、総務大臣表彰を受賞しました。昨年実施された

がら、的確な指導を行い、円滑な調査の実施に努めたことが高く評価されました。40年以上も国勢調査に従事してきた漣さんは「長年やってきたことが評価されて光栄です。これからも社会貢献のため統計調査を続けていきます」と話していました。

国勢調査で、統計調査指導員として従事した漣さん。各調査員の調査状況などを把握しながら、的確な指導を行い、円滑な調査の実施に努めたことが高く評価されました。40年以上も国勢調査に従事してきた漣さんは「長年やってきたことが評価されて光栄です。これからも社会貢献のため統計調査を続けていきます」と話していました。

# 人権作文・書道コンテスト 本町から6人が入賞



入賞に笑顔を見せる山田中の生徒



勝山藍さん(写真左)と佐々木実築さん

盛岡地方法務局などが主催する第31回全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会と第20回岩手県小学生人権書道コンテストで、山田中と豊間根小の合わせて6人が上位に入賞しました。いずれのコンテストも、人権尊重の重要性や必要性の理解を深めてもらおうと行われたもので、同作文コンテストは県内から26校1,633編、同書道コンテストは、県内から23校962点の応募がありました。入賞者は次のとおりです。

▷作文 岩手日報社賞…瀬戸洋介(山田中3年) 優秀賞…沼崎優花(同2年)、梶山拓郎(同1年) 奨励賞…佐藤彩(同3年)

▷書道 優秀賞…勝山藍(豊間根小6年) 奨励賞…佐々木実築(同) 《敬称略》



受賞を喜ぶ大沢小児童会執行部の皆さん

県新聞教育研究協議会(藤澤英俊会長)が主催する県小中学校新聞コンクールの小学校・学校新聞の部で、大沢小学校の「海よ光れ」が最優秀賞を受賞しました。同コンクールの小学校部門には、県内から343点の応募があり、大沢小は7年連続での最優秀賞となります。児童会長の古久保優希菜さんは「先輩方の伝統を引き継いできた結果、受賞できてとても嬉しいです。これからも地域を明るく、学校のみならずにもっと読んでもらえる良い新聞作りをしていきたいです」と新聞作りへの情熱を話していました。

県学校新聞  
コンクール

大沢小が最優秀賞